

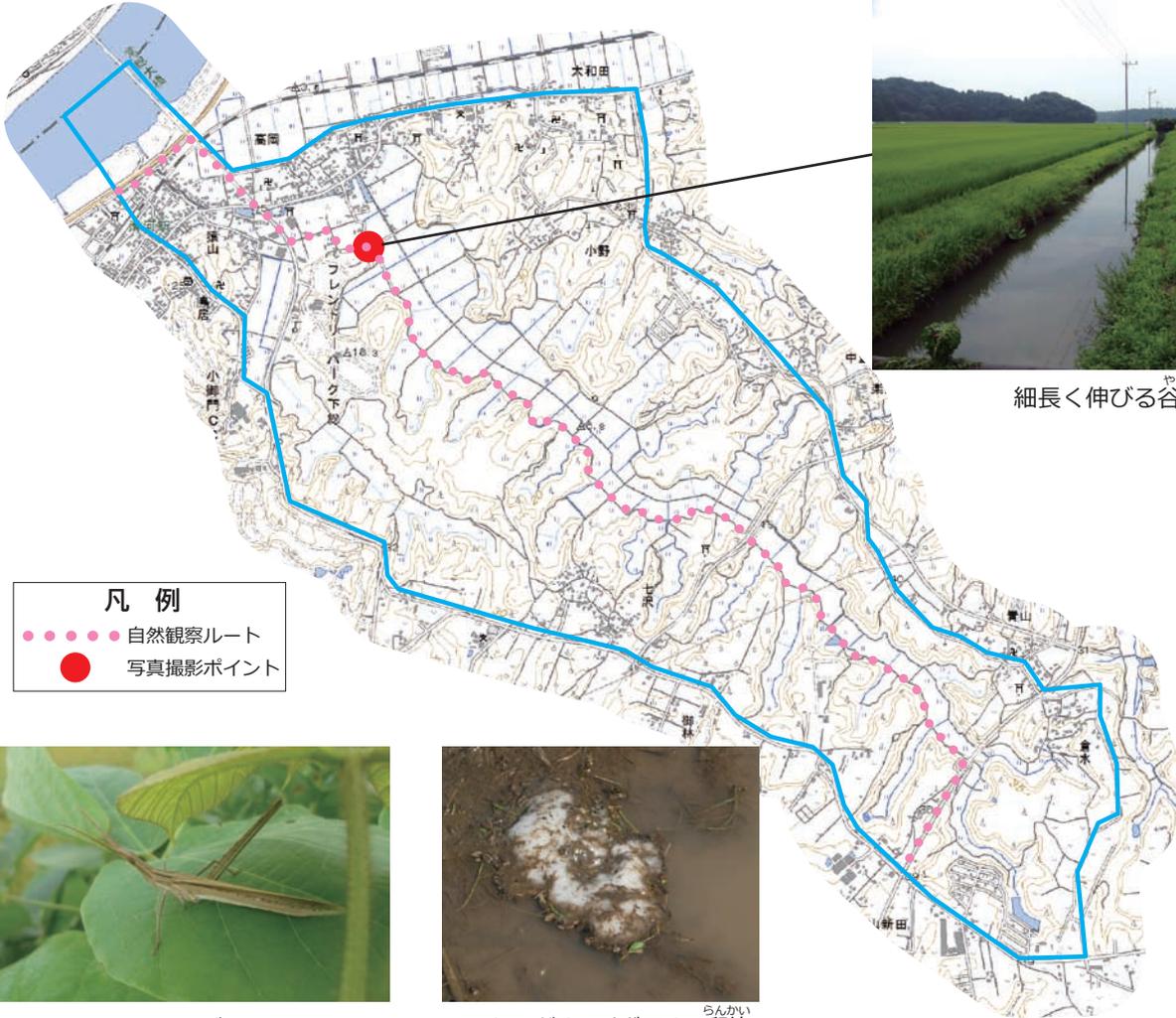


この地域は、成田市北部に位置する境川流域を含んでいて、その一部は利根川に接しています。地域の中央部を横切るように細長い谷津田が広がっており、その周辺は丘陵地となっています。

水辺や樹林を好む生き物が多く見られ、水辺では、シオ

さかがわりゅういき
16. 境川流域

カラトンボやオニヤンマなどのトンボの仲間やショウリョウバッタなどのバッタの仲間が多く見られます。水田では、ヨシに止まって鳴いているニホンアマガエルや畦に産卵するシュレーゲルアオガエルなどが多く見られます。また、畦ではニホンカナヘビやモグラ塚も多く見られます。鳥類は、水田で餌を採ったり、休息したりするダイサギやコサギなどのサギの仲間やセキレイの仲間が多く見られます。



細長く伸びる谷津田

- 凡例**
- 自然観察ルート
 - 写真撮影ポイント



ショウリョウバッタ



シュレーゲルアオガエルの卵塊

この地図は、国土地理院の電子地図25000『下総滑川』、『佐原西部』を使用したものである。

第3次調査確認種数

種別	確認種数
植物	381種
ほ乳類	3種
鳥類	20種
両生類・は虫類	4種
昆虫類	309種
底生生物・魚類	6種

第1次調査、第2次調査は、実施していない。



シオカラトンボ